

事務連絡
令和6年11月1日

関係都道府県及び政令市
水産関係公共土木施設等災害復旧事業担当課長 殿

水産庁漁港漁場整備部防災漁村課
水産施設災害対策室長

低気圧や前線による大雨に対する備えと被害報告等について

平素より、水産関係公共土木施設等災害復旧事業に関して特段のご理解、ご高配を賜り感謝申し上げます。

気象庁から別添「低気圧や前線による大雨について」を11月2日12時頃に発表予定との連絡を受けたところ、別添には、低気圧や前線の影響で、前線が東シナ海から九州の南に停滞し、台風第21号が台湾海峡を北上している。今後、台風は東シナ海へ北上して1日(金)夜には温帯低気圧に変わり、この低気圧は次第に不明瞭になりつつ九州に接近して、2日(土)には九州北部地方を中心に大雨をもたらす見込み。また、前線上に新たに低気圧が発生して本州の南岸を東へ進み、3日(日)には日本の東海上へ進むため、低気圧や前線の影響で、西日本から東北地方では3日にかけて大雨となる。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。との記載があります。

このため、貴管下の漁港・海岸保全施設、漁業用施設、共同利用施設における防災上の適切な措置及び工事中の各施設について必要な安全対策を講じていただくようお願いいたします。

また、港内に停係中の漁船の上架、係留の強化など被害防止対策を講ずることについて、漁港管理者として指導等をお願いします。

令和元年台風第15号では、施設等の直接被害はもとより、その後の停電により水産業へ多大な被害が生じました。このような状況を踏まえ、事前に冷凍・冷蔵施設や蓄養施設等のための非常用電源の確保や点検等を行うとともに、冷凍・冷蔵施設においては開閉を控えるなどの対策を講じていただくようお願いいたします。

災害関係の事務については、災害発生後迅速に対応する必要があることから、速やかに調査を実施する必要がありますが、人命第一の観点から、暴風雨時、高波浪時においては状況が収まるまで見回りは行わないで下さい。また、調査に当たっては、危険な箇所は無理をせず、安全に十分な配慮を行って下さい。

調査結果については、漁港関係公共土木施設災害復旧事業事務要領（漁港・海岸保全施設）、漁業用施設災害復旧事業事務取扱要領（漁業用施設）、農林水産業共同利用施設災害復旧事業事務取扱要綱（共同利用施設）により速やかに水産庁 防災漁村課 水産施設災害対策室までご報告下さい。

なお、早急な対応が求められる場合には、水産庁と協議の上、応急工事（査定前着工）を実施し、被害の拡大防止等に努めるようお願いいたします。

なお、各都道府県におかれては、このことについて貴管下市町村（政令市を除く。）に周知いただきますようお願いいたします。

【災害報告連絡先】 水産施設災害対策室 佐々木、田中、菊地、林、戸倉

Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325

mail : suisan_saigai@maff. go. jp

【応急工事連絡先】 水産施設災害対策室 河本、小坂、海津

Tel:03-3502-5638(直通) Fax:03-3581-0325

mail : suisan_saigai@maff. go. jp

重大、重要な災害又は応急対応が必要な災害が発生した場合は、水産施設災害対策室の携帯電話（090-5408-1617）または、下記の個人直通番号へご連絡下さい。

【個人直通】

03-3502-8181 をダイヤル後、ガイダンスに従い次の（ ）の番号を入力。

佐々木（84879）、田中（85918）、河本（88450）

低気圧や前線による大雨について(第1報)

(土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒)

<概況>

前線が東シナ海から九州の南に停滞し、台風第21号が台湾海峡を北上している。今後、台風は東シナ海へ北上して1日(金)夜には温帯低気圧に変わり、この低気圧は次第に不明瞭になりつつ九州に接近して、2日(土)には九州北部地方を中心に大雨をもたらす見込み。また、前線上に新たに低気圧が発生して本州の南岸を東へ進み、3日(日)には日本の東海上へ進むため、低気圧や前線の影響で、西日本から東北地方では3日にかけて大雨となる。

<大雨>

西日本では1日から2日にかけて、東日本※¹や東北地方では2日から3日にかけて、雷を伴った非常に激しい雨※²が降り、大雨となる。特に、九州北部地方では、2日午前中を中心に、暖かく湿った空気の流れ込みが強まるため、雨が強まるおそれがある。

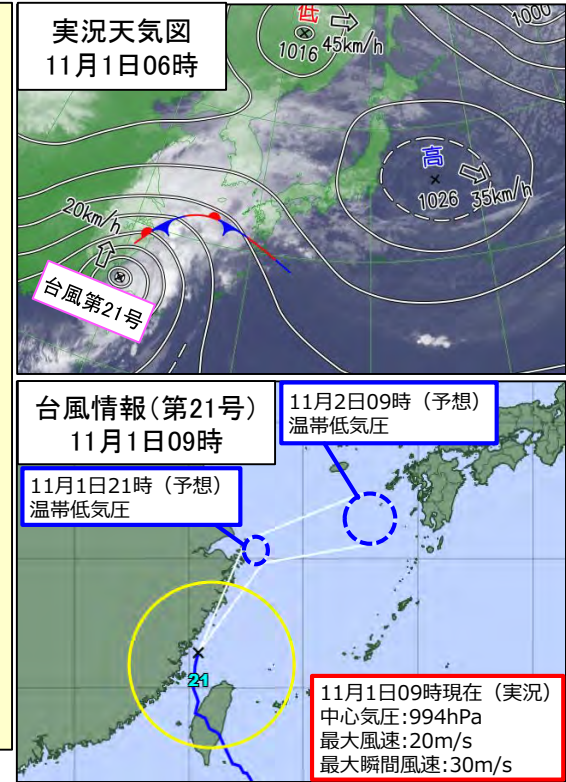
<警戒事項>

土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

<石川県能登の大雨について>

石川県能登では、2日は警報級の大雨となる可能性がある。2日午後は、土砂災害や河川の増水に注意・警戒。

※¹ 東日本: 関東甲信地方・北陸地方・東海地方 ※² 非常に激しい雨: 1時間に50mm以上80mm未満の雨



【大雨の見通し】(単位:mm 多いところ)

地域	2日06時までの 24時間雨量	3日06時までの 24時間雨量
東北地方	50未満	80
関東甲信地方	50	120
北陸地方	60	120
東海地方	60	150
近畿地方	70	150
中国地方	100	120
四国地方	150	150
九州北部地方	200	150
九州南部	100	150
沖縄地方	80	50未満

【警報級となる可能性のある期間】

日 時		1日 6~18		2日 18~6	2日 6~24	3日
東北地方	大雨					
関東甲信地方	大雨					
北陸地方	大雨					
東海地方	大雨					
近畿地方	大雨					
中国地方	大雨					
四国地方	大雨					
九州北部地方	大雨					
九州南部	大雨					
沖縄地方	大雨					

(■ 可能性がある、 ■ 可能性が高い)

